

M32 LIVE

Your Mind-to-Sound Interface



M32R LIVE



M32C

MIDAS

M32 LIVE

Digital Console for Live and
32 Midas PRO Microphone
and Live Mu



- デジタルコンソールとして最大40同時入力のライブ及びスタジオのレコーディングに対応
- 32 Midasマイクプリアンプを搭載
- 25ミックスバス - 時間のズレが無く同位相
- AES50ネットワークは最大96入力と96出力の割り当てが可能
- サンプリング・レート96 kHzオペレーションを考慮したオープン・アーキテクチャ
- 優れたオーディオ・パフォーマンスを実現した192 kHz ADCとDACコンバータを搭載
- 業界をリードする"ベントレー・モータース"のデザイナーによる設計

- 高性能カーボン・ファイバー、アルミニウム、衝撃に強いステンールを組み合わせた構造
- 40 bitフローティング・ポイント・シグナル・プロセッサ
- 8 DCA、6 muteグループ
- 8 ステレオ・シグナル・プロセッサ、エフェクト・エンジン
- 25 MIDAS PRO モーターライズ100 mm fader
- 直射日光下での可視可能7インチ・フルカラー TFTディスプレイ・スクリーン



Studio with 40 Input Channels, Preamplifiers and 25 Mix Buses Multitrack Recording



- 32 x 32チャンネルUSB 2.0オーディオ・インターフェイス
- Mackie ControlまたはHUI protocolsのDAWリモートコントロール・エミュレーション
- iPhoneまたはiPadによるワイヤレス・リモートコントロール
- オートレンジ、ユニバーサル・スイッチモード・パワーサプライ
- 最大32チャンネルのSDカードへのライブレコーディング/プレイバックを可能とする、2つのSD/SDHCスロットを備えたオプションカード(DN32-LIVE)を標準装備



チャンネル・ストリップ

M32 Live M32R Live



M32のチャンネル・ストリップは一つのセクションの中で最も重要なチャンネルプロセッシングパラメーターをサーフェス上に置くので、どのチャンネルの操作をしていても、コントロール方法はいつも同じです。この高効率なレイアウトは、数十年におよぶMIDASのデザインと世界中のユーザーより取り込まれました。最適化されたコントロール・イルミネーションはクリアなレベルまたは状態を表示し、どの角度からでも把握することができます。イルミネーション・ロータリー・エンコーダーとスイッチは、プリアンプのセッティング、周波数シェリング、デュアルダイナミックセクション、マルチモードパラメトリックEQ、バスセンド、モノとステレオのバンのコントロールなどを表します。

7インチ・メインディスプレイ

M32 Live M32R Live



M32の7インチディスプレイは日中でも見やすいTFT(Thin-Film Transistor)ディスプレイを採用。必要な時に必要な情報を表示することができます。ハイコントラストを選んだことによって、TFTはコンサートや屋外フェスティバル会場に理想的です。スクリーンの下には高精度タッチセンサーとエンコーダーがあり、スクリーンにすぐ情報を映し出します。スマートなデザインはエフェクタ、メーター、ルーティングのような不可欠な機能のコントロールを1・2回のボタン操作で瞬時に表します。

センズ・オン・フェーダ

M32 Live M32R Live



M32は、統合されたセンズ・オン・フェーダ機能により、Auxや他のバスミックスへ信号を容易に送ることができます。この素晴らしい機能は、FOHのミックスやレベルに影響を与えることなく、サブミックスをモニターやセカンドゾーンに送るなど、パワフルなサブミックスを行うことを可能にします。M32は選んだ信号をどのAuxやバスにも送る操作ができ、チャンネルフェーダで正確に信号を送ることができます。また、コンソールはどのフェーダで設定したかを記憶しており、バスを選択したとき素早くそれらをリコールすることができます。

DCAグループ

M32 Live M32R Live



DCA(デジタル・コントロール・アンプリファイア)グループは、サブグループバスにある信号をミキシングなしで一度に複数の信号をコントロールすることができます。M32の8DCAグループは、1つのフェーダで複数の信号、例えば、全てのドラムミックスやホーン、バック・ボーカルなどのセクションをコントロールすることができ、FOHミックスに非常に役立ちます。結果としては、最大限の柔軟性を与えるカスタマイズワークフローであり、個々のバスやサブグループが様々な目的を果たすように働きます。例えばゾーン送りや放送/録音に送るなど。

ビューファンクション

M32 Live M32R Live



M32全体で戦略的に置かれた11個のビューボタンがいろいろな機能と関係していることに気が付くと思います。これらのボタンは、特定の機能に瞬時にアクセスを可能にします。例えば、EQセクションのビューボタンを押したら、チャンネルEQの情報を簡単にメインディスプレイに表示させ、全ての関係しているパラメータを編集することができます。このダイレクト・ファンクションはエンジニアにより早い操作を提供します。

アサイン・セクション

M32 Live M32R Live



幾つかのデジタル・コンソールは僅かなユーザー定義可能なコントロールを提供しますがM32のアサイン・セクションは3つの異なるレイヤーで合計36の完全にカスタマイズ可能なコントロールを提供することで新しい基準を提供します。チャンネルやバスの個々のスクリブル・ストリップは、より識別しやすく、各ボタンは、パラメータのオン/オフのトグルになったり、タッピングによってエフェクタのタイミング調節をしたり、またフルスクリーンから詳細画面にジャンプする為のボタンにしたり定義分けすることができます。

LED付ロータリーエンコーダーはチャンネルのパラメータにアサインすることができ、またダイナミクス・セクションのパラメータにアサインすることもできます。

"アコースティック・インテグレーション" — ライブサウンドレボリューション

M32 Live M32R Live M32C



40年間、世界的に有名なスピーカーシステムを多く商品化している英国会社TURBOSOUNDはミキサーとスピーカーシステムを統合するために、MIDASとチームを結成しました。これを「アコースティック・インテグレーション」と呼びます。M32のULTRANET busを使うことで、CAT5ケーブルによりリモートでサウンドプリセットを設定することができ、コントロールデータと一緒に16chデジタルオーディオをTURBOSOUND iQスピーカーのアレイに送ることができます。さらに、iQシリーズには、M32よりサウンドエンジニアがミキシングデスクにしながら簡単にリモートコントロールでトゥルー・フィ

ジカル・モデリング機能を使って人気のある異なるスピーカーモデルにリアルタイムで割り当てることができます。「アコースティック・インテグレーション」は次世代ライブサウンドの革命になるでしょう。

全てのチャンネル/バスEQのための100バンドRTA

M32 Live M32R Live M32C



M32は、フル・バーとスペクトログラフ・ビューを持つ高解像度100バンド・リアルタイムアナライザー(RTA)を搭載しています。この高解像度RTAは、時間とともに100の周波数帯で音声エネルギー分布を示します。ソノグラフ・ウィンドウは、10秒間のキャプチャーを表示します。RTA表示でフルスクリーンに他の信号を表示させたり、また各チャンネル・バスのカーブを同時に表示させたりするスイッチもあり、それに加えRTAをFXラックの31バンドグラフィックEQに表示させることもできます。周波数をモニターして、コントロールすることは、これまでは簡単でありませんでした！

驚異的なトゥルー・フィジカル・モデリングをベースとした16FX "Plug-In"

M32 Live M32R Live M32C



16の新しいFX "Plug-In"をM32に搭載し、トータル50のエフェクタを提供します。この新しいハイエンドFX "Plug-In"世代はクラシックオーディオ・ハードウェアのトゥルー・フィジカル・モデリングを基本としています。このデジタル・ドメインにクラシック・アナログギアを再構築させ、「Urei 1176」、「Teletronix LA-2A」、「Fairchild 670コンプレッサー」など「Pultec EQP-1aEQ5」と同様に、様々なプロセッサを搭載しました。また最前線の5バンド・マルチバンドコンプレッサーも内蔵。少なくともM32は31バンド・GEQの8chと4ステレオリバースと一緒に使用することができ、オンボード

で今までと同じことができるので、アウトボードを必要としません。

FOH/MONITORで必要とされるゲイン・スプリットとリモートコントロール

M32 Live M32R Live M32C



新しいゲイン・スプリットモードは、チャンネル・ゲイン(トリム)をヘッドアンプ・ゲインから切り離している為、FOHやモニターエンジニア両方にデジタル・ローカルトリムとプリアンプ・ゲインを独立して調節することを可能にしました。それに加え、新しいHAゲインリモート・オプションは、ステージボックスとしてM32を使用する時など外部コンソールによって、コンソールゲインをリモートコントロールすることができます。

ルーティングとプロセッシングの柔軟性

M32 Live M32R Live M32C



M32のルーティングは、最新のファームウェア・アップグレードによって更に柔軟性を持ちます。アウトプット信号とXLRアウトプットを分けることができ、AES50ソースや拡張カードからM32のアナログ・アウトプットへ直接ルーティングさせることができます。PAに直接ルーティングさせる為にM32からアウトプットを使うこともできるし、またはメインやFOHコンソールからモニター信号をルーティングすることもでき、P16パーソナルモニターミキサーを使うことによって、新しいアウトプット・タップポイントはプリ/ポストミュートとして扱うことができます。これはミュートグループを必要としない時にとても便利です。

シーンとショーを管理のための強力な新しいツール

M32 Live M32R Live M32C



メータをスナップショットにするようなことや簡単にセーブすることができ、いつでも必要になった場合にすぐ呼び出せます。

m32R LIVE

Digital Console for Live and Studio with 40 Input Channels, 16 Midas PRO Microphone Preamplifiers and 25 Mix Buses and Live Multitrack Recording



- デジタルコンソールとして最大40同時入力のライブ及びスタジオのレコーディングに対応
- 16 Midasマイクプリアンプを搭載
- 25ミックスバス - 時間のズレが無く同位相
- AES50ネットワークは最大96入力と96出力の割り当てが可能
- サンプリング・レート96 kHzオーバーサンプレイングを考慮したオープン・アーキテクチャ
- 優れたオーディオ・パフォーマンスを実現した192 kHz ADCとDACコンバータを搭載
- 業界をリードする"ベントレー・モータース"のデザイナーによる設計
- 高性能アルミニウム、衝撃に強いスチールを組み合わせた構造
- 40 bitフローティング・ポイント・シグナル・プロセッサ
- 8 DCA、6 muteグループ
- 8 ステレオ・シグナル・プロセッサ、エフェクト・エンジン

- 17 MIDAS PRO モーターライズ 100 mm fader
- 直射日光下での可視可能5インチ・フルカラー TFTディスプレイ・スクリーン
- 32 x 32チャンネルUSB 2.0オーディオ・インターフェイス
- Mackie ControlまたはHUI protocolsのDAWリモートコントロール・エミュレーション
- iPhoneまたはiPadによるワイヤレス・リモートコントロール
- オートレンジ、ユニバーサル・スイッチモード・パワーサプライ
- 最大32チャンネルのSDカードへのライブレコーディング/プレイバックを可能とする、2つのSD/SDHCスロットを備えたオプションカード(DN32-LIVE)を標準装備

m32C

Digital Rack Mixer for Installed and Live Sound Applications with 40 Input Channels and 25 Mix Buses



- 40入力チャンネル、25バス、ライブ及び固定サウンド・アプリケーション用として1Uラックマウント可能なデジタルミキシング・コア
- 25ミックスバス - 時間のズレが無く同位相
- AES50ネットワークは最大96入力と96出力の割り当てが可能
- サンプリング・レート96 kHzオーバーサンプレイングを考慮したオープン・アーキテクチャ
- 高性能アルミニウム、衝撃に強いスチールを組み合わせた構造
- 40 bitフローティング・ポイント・シグナル・プロセッサ
- 8 DCA、6 muteグループ

- 8 ステレオ・シグナル・プロセッサ、エフェクト・エンジン
- 32 x 32チャンネルUSB 2.0オーディオ・インターフェイス
- オーディオ・インターフェース・カードまたはデジタル・ネットワーク・ブリッジのためのビルトイン拡張ポート
- リモート・シーン・リコールまたはコントロール可能な他のMIDIディバイスのためのMIDI In/Out
- iPhoneまたはiPadによるワイヤレス・リモートコントロール
- オートレンジ、ユニバーサル・スイッチモード・パワーサプライ

M32 Live M32R Live

MIDAS プロ・フェーダ – 100万回のライフサイクル

あらゆる可能性があるこの業界でリードをし続けて行く上で、私たちは最も信頼のあるモーターフェーダを選ばなければなりません。そして私たちは金属材料を猛烈に学び、セミプレシジョン金属材料を採用した長時間使用可能なモーターフェーダを念入りにデザインしました。長い年月をかけて金属材料供給メーカーと情報交換をした後、私たちは最高の製品を作り上げました。それは、リニアで、頑丈且つスムーズな操作を提供します。この工程は容易ではなかったのですが、結果として100万回のライフサイクルを実現。これは通常のフェーダの3倍に匹敵します。

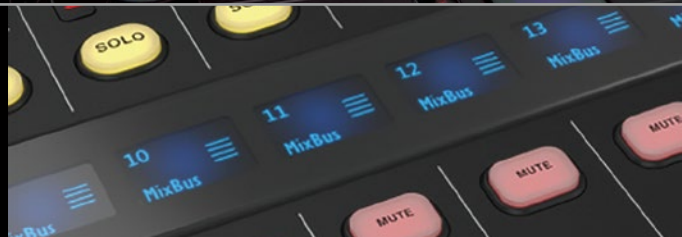


LCDスクリブル・ストリップ

M32 Live M32R Live

トータルビジュアルリティ&トータルコントロール

合計29のプログラム可能なLCD Scribble Stripsは、チャンネルやバスの何をコントロールしているかを容易に確認できます。名称を読み込ませ、カラー選択、インプット/アウトプットのタグとして使用できます。またシンプルでエレガントな効果が表せ、マスキングテープを必要することはありません。



Real-Time Recording

M32 Live M32R Live

DN32-LIVE (標準搭載)

最大32チャンネルのSDカードへのライブレコーディング/プレイバックを可能とする、2つのSD/SDHCスロット + USBスロットを備えた拡張カードDN32-LIVEを標準装備。非圧縮WAVファイルを1セッションで最大3時間SDカードに録音および再生が可能です。自動スパニング機能により、8トラックの12時間以上の録音を途切れることなく両方のSDカードにまたがって録音可能。録音中または再生中に曲の位置を識別するためのマーカー機能搭載。PC、AndroidまたはiPadアプリなどからのリモートコントロールにも対応しています。USB2.0ポートも備えておりUSBとSDカードは独立してのオペレーションが可能です。



Expansion & Networking

M32 Live M32R Live M32C



DN32-MADI (オプション)

DN32-MADI拡張カードは、MADIネットワークを構成させることができ、I/Oオプションをさらに多くすることができます。MADIやAES10プロトコルは、今や多くの現場で使用され、X-MADIはオプティカルデュプレックスSC-plugs (IEC874-19) により、Fiber-Optic MADIデバイスを接続することができます。ケーブルは、マルチファイバーケーブルで最長2km、デュアルBNCターミナルでは、標準75Ω同軸ケーブルで最長100mまでを接続可能とします。このBNCと光ファイバー接続は、同時に使用できるので、二重化ネットワークを作り上げることができます。DN32-MADIカードは、MADIプロトコルを使用している設備には最適な解決策です。



DN32-ADAT (オプション)

DN32-ADAT拡張カードは、ADAT I/O機能を持つ商品をもM32に接続させることを可能にします。これは、スタンドアロンレコーダーやデジタルオーディオワークステーション、そして他のデジタルミキサーやシグナルプロセッシングなども含みます。DN32-ADATカードは、8個のfiber-optic Toslinkコネクタより、32ch ADATインプットとアウトプットを提供します。このカードは、24bitシグナルトランスミッション機能を持ち、44.1や48kHzサンプリングレートでオペレートすることができます。またDN32-ADATカードは、BNCワードクロックin/outがあり、外部クロック同期や内部クロックを外部ディバイスへ送ることもでき、外部クロックは、4つのToslinkポートのどれかと同様にBNCコネクションを通すことが可能です。



DN32-DANTE (オプション)

DN32-DANTEカードによってM32は100Mbit/sまたはGigabitネットワーク基板とDSCP Based QoSのDanteネットワークになります。これにより、同じネットワーク上で、他のIP-baseデータを持つ多チャンネルオーディオを提供することができ、高品質なオーディオを保証するSample accurate syncとローレンテンシーを持つ24bitのシグナルトランスミッションが利用可能になります。そして、セカンダリ入力は途切れないリダンダントネットワークを提供します。M32のフルリモートコントロールは、一般的なEthernetスイッチを使用することができコンピュータをDN32-DANTEカードに接続することでオーディオDanteコントローラアプリケーションをフルコントロールすることができ、Danteデバイスに信号を送ることが可能となります。



DN32-USB (オプション)

※ M32Cには標準搭載

DN32-USBカードを挿入することでM32はしっかりとしたスタジオ機能を提供します。最大32トラックの録音や再生をUSB2.0コネクタを通じてWindowsXP/Vista/7/8やMacコンピュータに容易に接続可能。多彩なサンプリングレートをサポートするので、ライブ後のミックスダウンの為にコンピュータに直接ライブオーディオ32チャンネルを録音することができます。DAWのプラグイン・コレクションを増やす為、またはコンピュータのリソースを有効活用する為にM32のビルトインFXを利用することもできます。M32のメモリー能力はプロジェクトとプロフェッショナルスタジオエンジニアの為に、シーンとしてUSBや内部メモリーにストアすることができ、ファイル構成の保持を容易にします。

Wireless Remote Control

M32 Live M32R Live M32C



M32 EDITOR (PC and Mac)

経験の中で、多通信を同時に行うことは困難でした。これはコンソール自体を制御することにあてはまります。単にLAN、無線ネットワークまたはイーサネット・ケーブルによってラップトップまたはデスクトップPCやMACをM32に繋いでください。M32 EDITORは、離れたコンピュータからM32に命令を与えます。PCでフェーダを動かしてください、コンピュータ上でM32ボタンを押してください。M32上でそれらは動作します。この特徴を生かしステージ横でモニターをしたり、複数の設置されたM32を個々にまたは同時に制御したり、M32は複数のリモート・コントロール・ステーションとしても役に立つとわかります。またM32 EDITORは堅実なチェックのために必要とされる時間を最小にするために、事前にPCでシーンを作成できます。PC版とMAC版が用意されたM32 EDITORソフトウェアで、仮想のM32を何時でも触れることができます。



M32 MIX (iPad)

FOHや全てのポジションで、誰もがiPad用の新しいM32 MIXアプリに感謝するでしょう。M32にイーサネット・ケーブルでアクセスポイントを繋ぐだけで、ワイヤレスで最大10台のiPadデバイス(特にカスタムのモニターミックスに便利!)を繋いでください。M32 MIXアプリによって、全32chのマイク入力、8chのAUX入力、16系統のバスをコントロールすることができます。さらに、FXステレオ・リターン、マトリックス、メインとDCAレベル、iPadでフェーダを選んで仮想フェーダをスライドしてください。M32のモーター・フェーダはそれをすぐに反映します。さらに、Sends on Fader機能により、iPad上で、16chの独立したモニターミックスをコントロールします。M32 MIXアプリは、容易く、柔軟性と機動性を与えます!



M32 CUE (iPhone and iPod touch) / (Android)

M32 CUEは、MIDAS M32デジタル・ミキシング・コンソールのパーソナル・モニターミックス時に使用する完璧なツールです。iPhoneやiPod touchデバイスと互換性を持ち、アーティストたちが彼ら自身のIEMやウエッジ・モニターのミックスを調節して、微調整をするために彼ら自身のM32 CUEアプリで実行することができます。M32 CUEは、ライブまたはリハーサル中に、モニターミックスの調節を単純化するためにアサインするMCA (Mix Control Association) 機能を提供します。M32 CUE内部で、4つのMCAコントロールにどんな入力でも、組合せでも1つに割り当て、すぐに「もっと自分を」、「バンドを下げる」、「クリックを大きく」など、指を一回振るだけで可能にします。

Androidデバイスには、M32-Qで同様のツールとして使用することができます。

※ M32 CUE AppはフリーソフトウェアでApple App Storeでダウンロード可能です。

Digital Stage Box OPTION M32 Live M32R Live M32C

DL16 16 Input, 8 Output Stage Box with 16 MIDAS Microphone Preamplifiers, ULTRANET and ADAT Interfaces



- 16 MIDAS PRO マイクプリアンプ(+48V ファンタム電源)
- 8つの電子バランス、ローインピーダンス、ラインレベル出力
- IEMシステム用としてULTRANET personal monitoring systemに接続可能
- スプリッター・モードとスタンダアロンのデジタル・マルチコア・アプリケーションに使用可能なデュアルADAT出力
- DL16をカスケード接続可能にするデュアル AES50 port(ルーターなどは不要)
- 最長80mのCAT5/5eケーブルによるリモートオペレーション
- すべての設定をフロントパネルコントロールまたはコンソールからプログラム可能
- フロントパネルにステータス確認ができるLEDを搭載
- ステージ上の監視を可能するため、すべての入出力をヘッドホン出力にアサイン可能
- MIDI In/OutによるFOHとステージ間のMIDIデバイスを双方向で通信可能
- AES50とULTRANETネットワーク・ポートにはNeutrik etherCONを採用
- 移動用として、耐久性を考慮した頑丈な2Uラックマウント・シャーシ
- オートレンジ、ユニバーサル・スイッチモード・パワーサプライ

MIDAS マイクプリアンプは、有数なライブサウンドとレコーディングのエンジニアに認められたことで、MIDAS サウンドの本質であると考えられます。40年以上のデザイン経験は、称賛される暖かさとし、深さに導かれるプレミアム・グレードのコンポーネントの中から最も素晴らしい選択をし、微妙な雰囲気と空間の位置決めを維持して、より効果的に正確なイメージをとらえます。受賞したMIDAS PRO マイクプリアンプの称賛された響きは、ライブサウンドエンジニアの世代へ最高の動きをする刺激を与え、世界中で観衆を魅了した音の景色を作ります。DL16は、称賛されたPROシリーズ・コンソールと同等のプリアンプを特徴とします。

DL16の入出力の全てはバランスとアンバランス信号を取り扱えるために専門のMIDASエンジニアによって設計されました。そして、信号劣化(雑音とクロストークの干渉)については、どのような心配も解消されました。またDL16はアナログ・コンバータにデジタル・デュアルCirrus Logicを特徴とし、減少したノイズフロアと低歪を提供し、そして、ポストDACが広帯域のノイズを取り除くためにフィルティングもしています。

多くのメーカーは、ADAT デジタル・インターフェースを特定の種類のオーディオデバイス(例えばミキサー、シンセサイザー、エフェクトプロセッサ)間にデジタルデータを渡す手段として採用しています。DL16のリアにある2つのADAT出力で、互換性を持つアウトボードのデバイスにADATで簡単に接続することができます。

CAT5ケーブル(STP)で最大3つのデジジーチェーン接続を可能にしたDL16は、ステージ上に48チャンネルの入力と24チャンネルの出力を提供することができます。ライブ業界の必要性を満たす手軽な設置と使い易さで、AES50は高チャンネル数、超低レイテンシー、正確なフェイズ配列、ネットワーク化されたクロック分配、エラー検出を同時に提供します。このユニークな組合せにより、ライブとスタジオ録音アプリケーション(ポストプロダクション、放送や音声ルーティング構造だけでなく)の両方で有効活用することができます。FOHとステージ間で通信することは、決して簡単ではありませんでした。DL16の独創的なモニタリング/ヘッドアンプ・コントロールは、16入力と8つのバス出力のいずれか1つを選択し瞬時にラインチェックすることができます。ステージボックスで信号を監視することに加え、個々のチャンネルゲインの設定や+48Vファンタム電源を加えることができ、更に直接入力された信号を聞くことができます。

DL16はフロントパネルから、または最大80mのネットワーク能力を持つCAT5ケーブルの接続により、コンソールによってもコントロールすることができます。設定がすべて終了したならば、すべての構成セッティングは全体のシステム・セキュリティのためにコンソールからロックすることもできます。

DL32 32 Input, 16 Output Stage Box with 32 MIDAS Microphone Preamplifiers, ULTRANET and ADAT Interfaces



デジタルミキサーは、ライブ・エンターテインメントの制作仕事の流れを全てにおいて事実上の革命をもたらしました。DL32は、世界中で、そしてFOHとステージのアーティストを繋ぐ完全な解決方法です。非常に多くの入出力が集結したDL32デジタルステージ・ボックスは、更に革命をもたらすでしょう。

DL32は32 MIDAS PROシリーズのリモートコントロール可能なマイクプリアンプと16アナログXLRリターンをステージ上に供給し、1本のCAT-5/5eケーブルで最長80mの接続を可能にします。

KLARK TEKNIK(ハイエンドのデジタル・オーディオ・プロセッシング業界のリーダー)により可能性のある全てのAES50 SuperMAC技術が開発されました。— 製品の幅広いスケールは、DL32をとても手軽な物にしました。

M32システムの一部として使用する場合、最大64のマイク/ライン入力、32のバランス出力をステージ上に供給することができ、またAES50経由で送られた信号はULTRANETポートからも出力することが可能なため、2つのDL32の組み合わせで最大48台の個々のモニターミックスを供給することが可能です。

既にお分りの通り、DL32はリモート制御可能なマイクプリアンプ、KLARK TEKNIKのAES50連結性と豊かな専門的な機能により、とても用途の広い32x16のデジタルステージ・ボックスとして様々な解決案を提供でき、優れたコストパフォーマンスを發揮します。

DL32は3Uサイズで厳しいロードツアーに耐えるよう非常にタフに造られ、安価なCAT5ケーブル(STP)で簡単にFOHと繋ぐことができます。

- 32 MIDAS PRO マイクプリアンプ(+48V ファンタム電源)
- 16の電子バランス、ローインピーダンス、ラインレベル出力
- IEMシステム用としてULTRANET personal monitoring systemに接続可能
- スプリッター・モードとスタンダアロンのデジタル・マルチコア・アプリケーションに使用可能なデュアルADAT出力
- 2つのAES-3ポート(AES/EBU)、PAシステムのデジタル入力に直接接続が可能
- 最長80mのCAT5/5eケーブル(STP)によるリモートオペレーション
- MIDI In/OutによるFOHとステージ間のMIDIデバイスを双方向で通信可能
- AES50とULTRANETネットワーク・ポートにはNeutrik etherCONを採用
- 移動用として、耐久性を考慮した頑丈な3Uラックマウント・シャーシ
- オートレンジ、ユニバーサル・スイッチモード・パワーサプライ
- Mute-All-Inputs機能により、ステージ上でどんな入力でもノイズを出すことなく修復可能

Specification

	M32 LIVE	M32R LIVE	M32C
プロセッシング			
入力プロセッシング・チャンネル	32 入力チャンネル, 8 Aux チャンネル, 8 FXリターン・チャンネル		
出力プロセッシング・チャンネル	16 Aux バス, 6 マトリックス、メインLRC		
入力エフェクト・エンジン (ステレオ / モノ)	8 / 16		
内部 Show オートメーション (キュー / スニペット)	500 / 100		
内部トータル・リコール・シーン (プリアンプ、フェーダを含む)	100		
シグナル・プロセッシング	40-Bit Floating Point		
A/D コンバーター・ダイナミックレンジ	24-Bit, 114 dB		
D/A コンバーター・ダイナミックレンジ (ステレオ)	24-Bit, 120 dB		
IOレイテンシ (コンソール入力から出力)	0.8 mS		-
ネットワーク・レイテンシ (IO Box 入力から IO Box 出力)	1.1 mS		-
コネクタ			
MIDAS PRO シリーズ・マイクプリアンプ (XLR)	32	16	-
トークバック入力 (XLR)	1		-
RCA 入出力	2 / 2		-
XLR 出力	16	8	-
モニター出力 (XLR / 1/4" TRS バランス)	2 / 2	2 (1/4 TRS)	2
Aux 入出力 (1/4" TRS バランス)	6 / 6		-
ヘッドホン出力 (1/4" TRS)	1 (stereo)		-
Digital AES/EBU 出力 (XLR)	1	-	-
AES50 ポート (KLARK TEKNIK SuperMAC)	2		-
拡張カード・インターフェイス	32 チャンネル・オーディオ入出力		
ULTRANET P-16 コネクタ (No Power Supplied)	1		
MIDI 入出力	1 / 1		
USB (オーディオ & データ送受信)	Type A x1 (DN32-LIVE 標準搭載)		Type A x1 (DN32-USB 標準搭載) 、Type B x1
SD/SDHC カードスロット (オーディオ & データ送受信)	2 (DN32-LIVE 標準搭載)		-
Ethernet RJ45 (リモートコントロール)	1		
マイク入力特性 (マイク入力からアナログ出力)			
デザイン	MIDAS PRO シリーズ		-
THD+N (0 dB gain, 0 dBu output)	< 0.01 %		-
THD+N (+40 dB gain, 0 dBu to +20 dBu output)	< 0.03 %		-
入力インピーダンス (アンバランス / バランス)	10 kΩ / 10 kΩ		-
最大入力レベル	+23 dBu		-
ファンタム電源	+48 V		-
等価入力ノイズ @ +45dB gain (150 Ω source)	-125 dBu (22 Hz - 22 kHz)		-
CMRR @ Unity Gain (Typical)	> 70 dB		-
入出力特性			
周波数特性 @ 48 kHz Sample Rate	0 dB to -1 dB (10 Hz - 22 kHz)		-
ダイナミックレンジ (Analogue In to Analogue Out)	106 dB		-
A/D ダイナミックレンジ (プリアンプとコンバーター)	109 dB		-
D/A ダイナミックレンジ (コンバーターと出力)	109 dB		-
クロストーク除去 (@ 1 kHz、隣接チャンネル)	100 dB		-
出力レベル (XLR コネクタ、定格 / 最大)	+4 dBu / +21 dBu		-
出力インピーダンス (XLR コネクタ、アンバランス / バランス)	50 Ω / 50 Ω		-
入力インピーダンス (TRS コネクタ、アンバランス / バランス)	20 kΩ / 40 kΩ		-
最大入力レベル (TRS コネクタ)	+21 dBu		-
出力レベル (TRS、定格 / 最大)	+4 dBu / +21 dBu		-
出力インピーダンス (TRS、アンバランス / バランス)	50 Ω / 50 Ω		-
ヘッドホン出力インピーダンス / 最大出力	40 Ω / +21 dBu (Stereo)		-
残留ノイズ・レベル (Out 1-16 XLR コネクタ、ユニティ・ゲイン)	-85 dBu 22 Hz - 22 kHz		-
残留ノイズ・レベル (Out 1-16 XLR コネクタ、ミュート)	-88 dBu 22 Hz - 22 kHz		-
残留ノイズ・レベル (TRS and Monitor out XLR コネクタ)	-83 dBu 22 Hz - 22 kHz		-
ディスプレイ			
メインスクリーン	7" TFT LCD, 800x480 解像度、262k Colours	5" TFT LCD, 800x480 解像度、262k Colours	128x64. LCD with RGB color backlight
チャンネルLCDスクリーン	128 x 64 LCD with RGB Colour Backlight		-
メインメーター	24 セグメント (-57 dB to Clip)	18 セグメント (-57 dB to Clip)	-
電源			
スイッチモード・パワーサプライ	オートレンジ 100 - 240 VAC (50/60 Hz)		
消費電力	120 W	70 W	40 W
フィジカル			
動作環境	5°C - 40°C		
サイズ	891 × 612 × 256 mm	478 × 617 × 208 mm	483 × 288 × 50 mm (1U)
重量	25 kg	14.3 kg	4.7 kg

